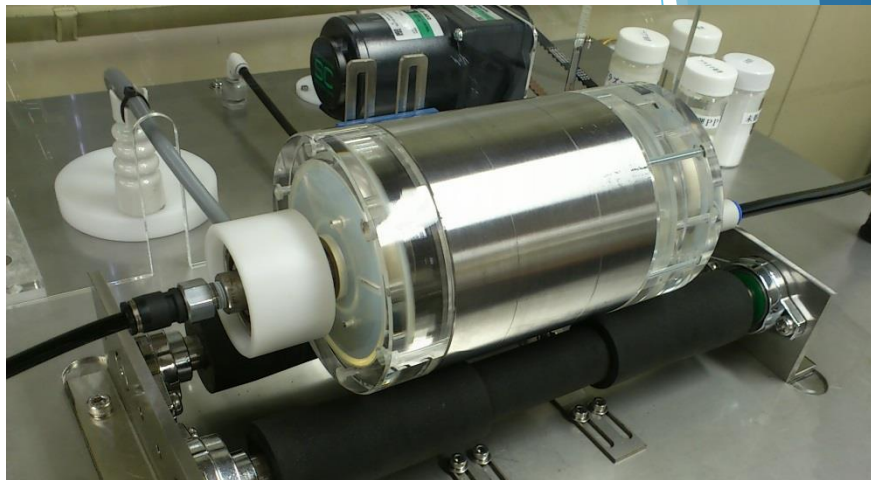


# 粉体大気圧プラズマ処理装置



《装置外観》

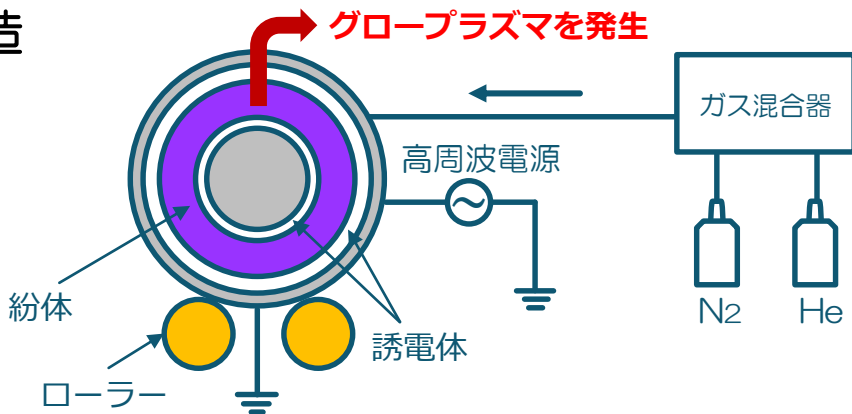
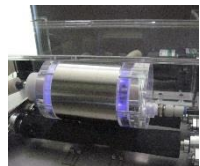


《放電セル》

## 特長・用途

- ◎ ローラー式放電セルを採用、効率的に試料の処理が可能
- ◎ ポリマー粉体表面の親水化・疎水化
- ◎ プラズマガスの選択により、各種官能基の導入が可能

## 放電セル構造



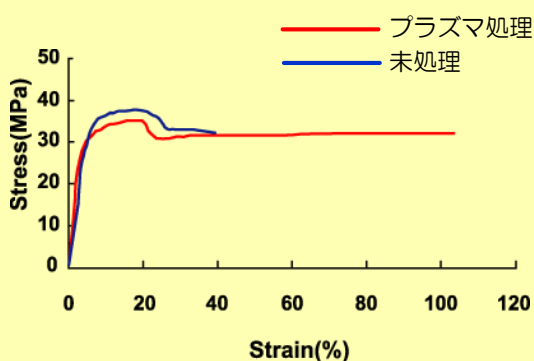
## 装置仕様

|             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 放電方式        | 同軸円筒型 誘電体バリア放電によるプラズマ発生 |
| 出力周波数       | 15 kHz ~ 30 kHz (正弦波)   |
| 最大出力電力      | 1 kW                    |
| 使用ガス        | 2種タイプ / 3種タイプ           |
| 処理量         | 150g / 回                |
| 連続反応時間      | 5分                      |
| 電源          | AC200V 単相 ±10% 20A      |
| 重量          | 90 Kg                   |
| 大きさ (L×D×H) | 790mm×560mm×1270mm      |

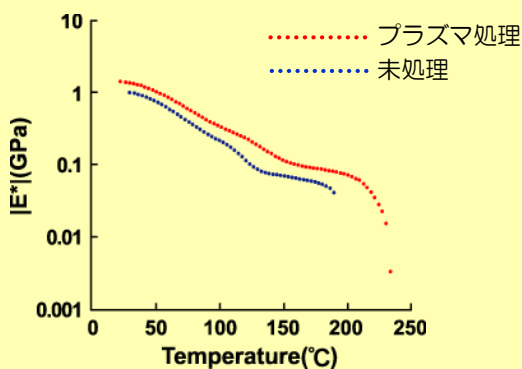
※仕様は予告なく変更することがあります。

### 【プラズマ処理ポリエチレンとナイロン6(5/5)のブレンド】

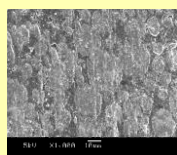
#### 伸びが増加



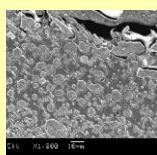
#### 耐熱性の向上



#### 分散性の向上



未処理



プラズマ処理

プラズマ処理を行うことにより混合物(この場合ポリエチレンとナイロン)の分散性が良くなり、粒子が小さくなっているのが確認できる。

※本装置は九州産業大学総合機器センターの古賀啓子先生(専門:高分子)の発明(特許第5080701)を活かし、当社が製品化したものです。